どりよくのせいか

御津北部小・2 山中 さわ

「できないことがあっても、がんばればできるようになる」
そう考えるようになったきつかけは、ならいごとのプールでしけんに合かくできたことです。

わたしは、一年生の二学期にスイミングをならいはじめました。さいしよは十八きゆうからスタートしました。そのころは、ゴーグルなしでは目があけられなくて、テストに二回もおちてしまいました。

合かくできるかふあんな気もちはずっとありました。でも、「つぎのテストこそは、ぜったいに合かくしたい。」と心の中で強く思いました。つぎのテストで合かくするために、自ゆうにあそべる時間でもれんしゆうをがんばることにしました。わたしのお姉ちゃんも同じスイミング教室に通っていたので、手つだってもらえることになりました。

さつそくれんしゆうをはじめました。何ども何どもれんしゆうしましたが、どうしても目をあけるのはこわくて、あけられませんが、「ゴーグルがあれば、目をあけられるのにな。」と思いました。しかし、テストではゴーグルをつかえません。どうしたらうまくいくのかわからず、こまっつてしまいました。そのようすを見たお姉ちゃんから、

「水の中で目をあけても、いたくないからがんばって。」

とやさしくはげましてもらいました。そのことばにゆう気もらえた気がして、水中にもぐって思いきつて目をあけてみました。すると、いっしゆんだけ目をあけることができました。とてもうれしい気もちになりました。「もつと上手になりたい」と思い、その後も、もくもくとれんしゆうをつづけました。

そして、いよいよテストになりました。どきどきしながらじゆん番をまっつていました。いよいよわたしの番です。わたしは、大きくいきをすつて、水の中にもぐりました。「こわい。」と思ったけど、「できる。」と自分に言い聞かせて、そつと目をあけました。

「あ、見えた！」

わたしは、とうとう目をあけることができました。そのままがんばって目をあけつづけました。顔を上げると、先生から、

「あけられたね。すごい。」

とほめてもらえました。また、いっしよにれんしゆうしてくれたお姉ちゃんも、

「よくがんばったね。」

とよろこんでくれました。そのすがたを見て、わたしはとてもうれしくなりました。

わたしは、このけいけんから、「できないことがあっても、あきらめずにがんばれば、できるようになる」ことを学びました。つぎはクロールのテストにもちようせんしたいです。